

第1節 地域産業の振興

施策1 農林資源

1. 現状と課題

- 農地や農業施設は、農産物の生産基盤であると同時に、自然環境の保全・形成、災害の防止、水資源の涵養など多くの役割を担っており、産業としての農林業と、それらの持つ多面的機能の向上の両面から施策の推進を図る必要があります。
- 米価の下落や就農者の減少、高齢化と担い手不足など農業経営を取り巻く環境は非常に厳しい状況にあります。新規就農者が少しずつ育ちつつあり、これら新規就農者をはじめ、“なばり農業”を支える多彩な担い手の育成を図る必要があります。
- 山林の所有者においても高齢化や過疎化、木材価格の低迷などにより林業離れが進み、手入れが行われなくなった人工林が増加する中、持続的な林業経営を目的とし、経営を通じて公益的機能も発揮する「生産林」の育成と、森林の有する公益的機能の発揮を目的とする「環境林」の育成の両面から施策の推進を図る必要があります。

2. 基本方針

- 市民が健康で豊かに暮らせる“なばり農業”の創造を目指して、農業マスタープランを基本とした施策を展開し、農業の振興を図ります。
- 農林業基盤の整備とともに、農山村や農地・山林の持つ多面的機能の向上を図り、田園や森林環境と調和する快適で美しいむらづくりを推進します。
- 森林を生産林と環境林に区分し、目的に応じた整備を進めるとともに、効率的かつ安定的な林業の育成を図ります。

3. 取組目標

(成果指標)

指標項目	現状値 2014(H26)年度	目標値 2018(H30)年度
名張市の農産物(米・果樹・野菜等)の消費量や知名度が高まっていると感じる市民の割合	36.0%	40.0%

◆市民意識調査において、「(「名張市の農産物の消費量や知名度が高まっていると思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した人数/市民意識調査回答者の総数) × 100

(活動指標)

指標項目	現状値 2014(H26)年度	目標値 2018(H30)年度
認定農業者数	51人	55人 (延べ)265人

◆積極的に経営改善や規模拡大を図ろうとする農業経営体(認定農業者)の数

(活動指標)

指標項目	現状値 2014(H26)年度	目標値 2018(H30)年度
下刈り、枝打ち、間伐等の森林施業面積(環境林を除く)	404.7ha	25.0ha (延べ)505.0ha

◆環境林を除く、下刈り、枝打ち、間伐等の森林施業にかかる面積

4. 主な取組内容

1 多彩な担い手に魅力ある農業づくり

① 多彩な担い手づくり

- ・認定農業者や新規就農者をはじめ、女性農業者、高齢農業者、休日農業者などの多彩な農業者を“なばり農業”の担い手として育成、支援を行います。
- ・従来の担い手に加え、新たな“なばり農業”の担い手として法人や企業の参入を支援します。
- ・関係者、関係機関が連携し、一体となって、多彩な担い手の育成や営農支援を図ります。
- ・新規就農者や認定農業者、地域の中心となる経営体に対して、重点的な支援を行います。
- ・土地利用調整や農作業の受委託など、地域内の農家が農業生産活動を共同して行う集落営農組織や農業生産組織の育成を図ります。
- ・出荷販売や直接販売など多様な流通販売体制の整備を図ります。

② 付加価値の高い農産物づくり

- ・農産物の加工・販売など6次産業化を推進し、農産物の新たな付加価値を創出します。
- ・農産物の品質の向上とさらなるブランド化を図ります。
- ・環境保全型農業の普及・推進を行い、付加価値の高い環境ブランド農産物の生産を進めます。

③ 生産基盤の確立

- ・中心経営体への農地の利用集積を推進し、土地生産性の向上を図ります。
- ・優良農地の保全を図るとともに、耕作放棄地の発生防止と解消に努めます。
- ・捕獲と防護の両面から、野生生物による農産物への被害対策を推進します。また、捕獲した害獣の獣肉等の有効活用を促進します。
- ・土地改良施設の適正な維持管理を促進するため、土地改良区の活動や運営基盤の強化を支援します。
- ・農産物流通の合理化や地域の活性化を図るため、農業施設の整備と機能向上を図るとともに、地域住民が実施する農業施設の維持管理や機能向上活動を支援します。

2 食と「農」のネットワークづくり

① 「農」を通じたふれあいと交流の促進

- ・農地や山林、郷土料理や地元食材で作った料理など農山村の持つ地域資源を活用したグリーンツーリズムの推進を図るとともに、都市住民と農山村住民の交流とネットワークづくりを進めます。
- ・農業や食をテーマとしたイベントの開催を促進し、市民の地域農業に対する理解を深め、交流を促進します。
- ・市民が農業に取り組める機会を創出します。
- ・園芸福祉活動によってもたらされる幅広い効果・効能などその理念の普及を図ります。
- ・「国津ふるさと館」と「はぐくみ工房あららぎ」を拠点として、山村地域の特性や資源を活用した体験学習等の機会を充実するとともに、都市住民と農山村住民の交流を促進します。

② 食育・地産地消の促進

- ・直売所などに出荷する農家の育成に努め、需要に見合った新鮮な農産物の提供と販売の拡大を図ります。
- ・消費者の多様なニーズに的確に対応し、新鮮で、安心・安全な地元農産物を提供する仕組みづくりを進めます。

- ・地元農産物や生産活動などの農業情報を提供し、消費者の「農」への理解を深めます。
- ・学校などにおける農業体験学習を推進し、農業の役割や理解を深めます。

3 美しい農山村づくり

① 計画的なむらづくり

- ・地域住民自らが地域の農業の将来像を描き実施する、計画的なむらづくりを推進します。
- ・地域の将来像の実現に向けて実施する計画的なむらづくりを支援します。

② 農山村環境の維持管理

- ・農村の生活環境の向上を図るとともに、美田や里山、落ち着いた集落の佇まいなど、農村の良さを生かす美しい景観や癒しの空間を創造します。
- ・地域住民が主体となって実施する農地や山林、農業施設などの地域資源の保全管理活動を支援します。
- ・中山間における農地の適正な保全と多面的機能の維持に努めます。
- ・休耕地の有効活用や里山の適正な管理を促進します。

③ 生活環境の整備

- ・農業基盤の整備とともに、地域の実情に応じた生活関連施設などの計画的な整備を検討します。
- ・市街地へのアクセス道路や地域間を結ぶ道路、自然を生かした公園等を整備します。
- ・豊かな集落環境を保全するため、耕作放棄地対策や森林の整備を進めます。

4 豊かな森林づくり

① 林業振興

- ・伊賀森林組合やマルタピア協業組合の基盤強化並びに認定林業事業体や林家の支援を行うとともに、林業に関する情報提供や技術指導を行い、多彩な担い手の確保や育成に取り組みます。
- ・機能的で効率的な林道、作業道の整備など、森林施業や山林活用の基盤整備を進めます。
- ・下刈り、枝打ち、間伐等の森林施業を促進するとともに、人工林の適正保育を進めることにより、付加価値の高い木材生産を推進します。
- ・木材の生産から加工流通までが一体となった体制整備を支援します。
- ・地元産木材住宅の建設にかかる助成や、公共施設への地元産材の活用などを推進します。

② 多面的機能の発揮

- ・森林の間伐や針広混交林化を推進し、生産林の育成と災害の防止など森林のもつ多面的機能の向上を図ります。
- ・間伐材の木質バイオマス燃料化や加工品の製造など、その利活用を推進します。
- ・森林公園や里山の整備を図り、市民に安らぎを与え森林に親しみをもたらす空間を創造します。
- ・「はぐくみ工房あららぎ」を拠点として、山村・森林の持つ資源を活用した体験学習の機会を充実します。

5. 主な事業

- 経営所得安定対策等推進事業
- 人・農地問題解決推進事業
- 経営体育成支援事業
- 中山間地域等直接支払事業
- 多面的機能支払交付金事業
- 環境保全型農業直接支援対策事業
- 鳥獣害防止対策事業
- みえ森と緑の県民税市町交付金事業

6. 関連計画

- 名張市森林整備計画
計画期間：2012（平成24）年度～2022（平成34）年度
- （仮称）第3次名張市農業マスタープラン
※2017（平成29）年3月（策定予定）



カントリーエレベーターと収穫の風景